



#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	新型コロナウイルス感染症で地域の行事や祭りが開催困難の中、オンラインイベントや徹底した感染防止策等で、新しい生活様式の地域振興を実施できた。今後も歴史や文化など地域の特長を活かした交流の場づくり等を積極的に支援するほか、廃校を利活用した地域交流や商工業の活性化を図る。
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国東半島の現代アート群をさらに充実させるため、国東市と豊後高田市にそれぞれ現代アートを制作設置した。</li> <li>・ジオパーク体験ワークショップを開催し、731人が来場、フォトコンテストでは301枚の応募があるなど、認知度向上が図られた。</li> <li>・ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストによる県内外での情報発信を行うとともに、誘客拡大を図るため、見どころの道路案内標識を46か所整備し、「ドライブガイドブック」を作成した。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員のネットワーク化や、OB、OGによる定期訪問などにより、隊員の活動環境の充実化が計られた。</li> <li>・おおいたツーリズム大学の修了生を対象としたオンラインセミナーを実施し、ウィズコロナ・ポストコロナの観光地域づくりについて意見交換が図られた。</li> </ul>
④	・充実した移住者支援メニューにより、前年度を上回る空き家バンクの利活用数となった。
⑤	・県内6振興局ごとの特徴を生かした産業振興や仕事づくりに取り組んだ。(Ⅱ-8-(2)参照)

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(2年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	地域活力づくり総合補助金	106.1	274
②	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	165.3	65
	おおいたジオパーク推進事業	74.0	65
	芸術文化による地域おこし事業	166.4	343
③	ふるさと大分UIJターン推進事業	88.4	156
	おもてなし人材育成事業	10.5	243
④	移住者居住支援事業	88.4	156

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県まち・ひと・しごと創生本部会議(R3.2)</p> <p>・空き家バンクの登録件数が少ないので、利活用を積極的に推進していかなければならない。</p>	<p>○第1回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R2.7)</p> <p>・大分の魅力をアピールするため、県と市町村が手を組んで役割分担することが大切。</p> <p>○第3回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (R3.2)</p> <p>・カルチャーツーリズムなどを進める際は、芸術文化の拠点となるOPAMだけでなく、地域を巻き込んだ形でうまく連動して、企画等を進めて欲しい。</p>
--	---

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスで疲弊した地域経済・社会の復興につながる取り組みを支援するとともに、地域の遊休資源である廃校を活用した移住・定住策など、地方創生に資する取り組みを引き続き推進する。</li> <li>・芸術文化団体や市町村等と連携し、芸術文化や歴史等を地域資源として活用し、優れた芸術文化活動を展開することで交流人口の増加につなげる。</li> <li>・地域を牽引するリーダーを育成するため、おおいたツーリズム大学において、実践例の体験や各地の取り組みを題材に議論を行うなど、県内外での講義を実施していく。</li> </ul>